

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

彩の耀

さいのかがやき

第183号

平成30年4月10日発行

発行人 岡村一巳

編集人 広報委員会

(委員長 市之瀬正靖)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

2018年度の委員会活動案内

当協会員は埼玉県内の主要な公共施設の元請業者として電気設備工事を手掛け、設立以来、会員企業の技術の研さん、安全確保、人材育成、経営の向上に努めています。また、県民の安全、安心な環境づくりに電気を通して貢献しています。担い手3法の「品確法」

「建設業法」「入契法」が改正施行され、近年では人材確保・育成が建設業界の共通の課題ですが、魅力ある業界であることが必要不可欠で、そのためにも各委員会で積極的な活動を行っています。

※各委員会の活動内容・年間活動予定は2・3ページに掲載。

総務委員会	働きがいのある職場づくりと健全運営目指す
企業対策委員会	会員企業の能力向上へ「自習室」を開設
技術研究委員会	技術講習会は「スマホで電気機器操作」など2回
事故防止対策委員会	寄付金募り6月に復興支援として熊本県視察へ
広報委員会	「彩の耀」が年4回発行に、新技術情報も発信
人材育成委員会	卒業生が講師となる“出前授業”を他校でも

各委員会で
課題に
向き合っています



理事会にて各委員会事業計画・予算(案)を決議

総務委員会

1. 組織に関する事項
2. 関係法令、諸制度に関する事項
3. 協会の財務に関する事項
4. 金融、税務に関する事項
5. 陳情、請願に関する事項
6. 他の委員会に属せざる事項

企業対策委員会

1. 電気設備等の経営の合理化に関する事項
2. 若年労務者確保対策の推進に関する事項
3. 労働条件、福利厚生に関する事項
4. 発注機関との打合せ等に関する事項
5. 構造改善事業の推進に関する事項
6. 所管事項に関する陳情、請願

技術研究委員会

1. 省資材、器具の調査研究に関する事項
2. 電気設備関係資格取得の推進に関する事項
3. 技術、技能の向上に関する事項
4. 所管事項に関する陳情、請願

事故防止対策委員会

1. 労働安全衛生対策に関する事項
2. 災害復旧対策に関する事項
3. 労働安全現場研修会の実施に関する事項
4. 所管事項に関する陳情、請願

広報委員会

1. 広報活動の企画に関する事項
2. 広報刊行物等の発行及び作成に関する事項

人材育成委員会

1. 新卒者及び若年技術者確保対策の推進に関する事項
2. 次世代層の育成に関する事項
3. 電気設備業界のイメージアップ活動の推進に関する事項
4. 労働条件、福利厚生に関する事項

委員会の活動内容紹介

総務委員会

働き方改革を軸として、事務局の働きがいのある職場づくり、健全運営を主として活動をしていきます。また、継続事業として、総会の優良従業員表彰、新年賀詞交歓会を行い、昨年度からの新事業として、イノベーションセミナーの充実を図っていききたいと思っています。

企業対策委員会

会員企業各社の社員の能力向上を目的に、『自習室』を開設します。

主に技術系社員の能力向上を目指し、1級・2級電気工事施工管理技士の資格取得をバックアップする場を提供。会員企業各社や働く社員の皆さまに対し、積極的に協力していきます。

例年、受験準備講習会は、県南部が平日、県北部が土曜日に日程を組んでいます。会員から「平日や土

す。

年2回の委員会活動を年3回として、より協会運営がスムーズになるように、幅広く意見を頂戴して活動していきたいと思います。

また、各支部で行われているロードサポートでは、ゴミ袋、用具等の補助事業も行っておりますので、ご活用をお願いします。

曜では現場の社員は参加が困難だが、日曜や夜間であれば参加させたい」との意見がありました。試験直前に協会で会議室を借り上げ、受験準備講習会のおさらい、模擬テストの実施、その他復習を行うための自習室を用意します。会員企業の社員の方、特に現場で働く方は、働きながら学習の機会を確保することなど、家庭との調整の面で負担が大きいと思います。ぜひ、自習室を活用して集中して学習し、万全の準備で1級電気工事施工管理技士の学科試験、実地試験に挑み、晴れて技術者となっていきたいと思います。

技術研究委員会

1級・2級電気工事施工管理技士、第一種・二種電気工事士、消防設備士甲種第4類などの受験準備講習会、登録電気工事基幹技能者認定講習会などを行います。また、各種技能講習会（石綿・酸欠・足場組立など）および、あと施工アンカーなど任意の講習会を専門会社の協力を得て実施します。

今年度に行う2回の技術講習会では、まず、国土交通省が国家資格として『1級・2級電気通信工事施工管理技士』の新設を予定していることから、8月に

『電気通信工事施工管理』をテーマに開催します。引き続き12月には『スマホなどで行う電気機器の操作など』を予定しています。IoT(Internet of Things)技術などの登場により、スマホなどで照明器具やエアコンなどの機器を室内外から遠隔操作ができる環境が広がっており、最新の状況をメーカーなどに説明してもらいます。

さらに、埼玉県営住宅の消防設備保守点検の点検結果報告書の取りまとめなどを行う委託業務に積極的に関わっていく予定です。最新の技術と電気工事を職業とする者が必要となる知識や技術・資格を得るための支援を続けていきます。

事故防止対策委員会

今年度は復興支援事業として、会員が行動をとりやすい6月の7日、8日の1泊2日で熊本県を視察します。ボランティア活動も含めた工程を組み、全会員に声を掛け寄付金を募ります。

恒例の安全大会では、実りのある内容とするため、

日本電設工業協会などに講師を依頼する予定で、前年同様に記念品も配布します。災害復旧対策講習会では、県消防防災課との災害時応援ネットワーク会議での意見、調整すべき事項などを会員向けに説明します。

3月には昨年度同様、大規模災害の発生を想定した災害対策復旧シミュレーションを実施。一斉メール送信で安否確認を行い、万全の体制を維持します。

広報委員会

平成30年度広報委員会の新規事業は、『彩の耀』の発行回数を年3回から4回に変更し、協会の多くの活動を広報したいと考えています。会員企業社員・官庁

職員の多くの方々に、研修・講習会等へ参加する環境をバックアップするために早期の情報発信を行います。

また、これから導入される新技術を紹介するコーナーとして『Wave』をシリーズ化するなど、情報発信に努めていきたいと考えています。

人材育成委員会

人材育成委員会では、新卒者および若年技術者の確保、次世代層の育成、電設業界のイメージアップ活動などを継続します。

主な事業は新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、生徒向け現場見学会など、電設業界と就職希望者をつなぐ事業です。また、協会員企業に入職する新卒者の約5割が高卒のため、工業高校を中心に訪問し、協会および協会員のアピールや進路動向の調査も行います。

メインとなる新事業は、春日部工業高等学校から打診を受けた“出前授業”です。電設業界の説明や同校

の卒業生が講師となり、今携わっている仕事を具体的に伝える授業を広報委員会と共同で行いました。電設業界の説明では建物や用途によって施工する設備の違いや、仕事の役割（営業、積算、設計、管理、施工など）について、具体的な例を挙げて解説しました。卒業生が講師となる授業では、身近な先輩たちの実践的で実感のこもった授業に、参加した生徒たちは強い関心を示し好評でした。電設業界のイメージアップ、入職時のアンマッチをなくし、長く勤めてもらえるよう今後は他校にも広めていきたいと思っています。

当委員会では“成長が期待できる人”、“社会・企業に望まれる人”の確保、“人材”から“人財”への育成を推進していきます。

委員会の年間活動予定

【総務委員会】

4月	決算監査
5月	定時総会／懇親会 第1回委員会
10月	県設備課との意見交換会
11月	第2回委員会 三県連絡会議(年1回開催予定) 上半期監査
1月	賀詞交歓会／セミナー
2月	第3回委員会(次年度事業計画・予算)

【企業対策委員会】

4月	第1回委員会
5月	企業対策セミナー
6月	中堅技術者フォローアップ研修[2日間]
8月	企業対策セミナー
11月	会員大会 婚活事業
1月	第2回委員会(次年度事業計画・予算)

【広報委員会】

4月	「彩の耀」第183号発行 第1回委員会
6月	第2回委員会
7月	「彩の耀」第184号発行 「会員名簿(H30年度版)」作成配布
11月	第3回委員会 「彩の耀」第185号発行
1月	「彩の耀」第186号発行 第4回委員会(次年度事業計画・予算)

【技術研究委員会】

4月	1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース)[6日間コース]【本試験6/10】 第二種電気工事士試験受験準備講習会(筆記)[4日間]
5月	1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース)[6日間コース]【本試験6/10】 第二種電気工事士試験受験準備講習会(筆記)[4日間] 第1回委員会・JECAフェア視察会
6月	消防設備士甲種第4類受験準備講習会 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 あと施工アンカー講習会、石綿作業主任者技能講習
7月	消防設備士甲種第4類受験準備講習会 足場の組立て等作業主任者技能講習 第二種電気工事士試験受験準備講習会(技能)[2日間] 県営住宅消防・電気保守点検業務等説明会
8月	第1回技術講習会 第一種電気工事士試験受験準備講習会(筆記)[5日間]
9月	1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(実地コース)[4日間コース]【本試験10/14】 第一種電気工事士試験受験準備講習会(筆記)[5日間]
10月	2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会 登録電気工事基幹技能者認定講習会
11月	第一種電気工事士試験受験準備講習会[技能][4日間]
12月	第一種電気工事士試験受験準備講習会[技能][4日間] 第2回技術講習会、県営住宅消防・電気保守点検業務等説明会
1月	第2回委員会(次年度事業計画・予算)

【人材育成委員会】

4月	新入社員研修会[ビジネスマナー／雇入れ時安全衛生教育] 第1回委員会 ※4月下旬～連休明けに学校訪問(実態調査)を行う
6月	第2回委員会
7月	第3回委員会
9月	第4回委員会 新入社員フォローアップ研修会
11月	第5回委員会 県庁オープンデー
12月	業界説明授業 合同反省会(広報委員会合同)
1月	第6回委員会(次年度事業計画・予算) ※新卒者採用アンケート実施【会員対象】
3月	第7回委員会(次年度業界PR兼学校訪問等について)

【事故防止対策委員会】

4月	第1回委員会
5月	職長・安全衛生責任者教育[2日間]
6月	低圧電気取扱者特別教育[2日間]
7月	第2回委員会 安全大会 高圧・特別高圧電気取扱者特別教育[2日間] 県消防防災課と「災害時応援ネットワーク会議」
9月	【災害実働マニュアル 別冊 発行】 災害復旧対策講習会
11月	低圧電気取扱者特別教育[2日間] 高圧・特別高圧電気取扱者特別教育[2日間]
1月	第3回委員会(次年度事業計画・予算)
3月	災害実働マニュアルに基づくシミュレーション

「SSLが変える今後の照明環境」

パナソニック(株)エコソリューションズ社ライティング事業部
エンジニアリングセンター 中央エンジニアリング部 部長 西村 唯史

～新しい技術を学ぼう～



日本照明工業会では、2020年へのロードマップにおいて、2020年での照明器具全体に占めるSSL（LEDなど半導体照明の総称）器具の割合を出荷ベースで100%、既設ベースで50%実現を目指しています。

近年のLEDの効率向上は目覚ましく、190lm/Wを超えるLED照明器具も出てきており、200lm/Wの実現も視野に入っております。

しかし一方で、LEDの効率向上は飽和状態に近づいており、今後LED照明器具の特長を活かした照明手法の採用や、センサやタイマーによる照明制御の導入により、更なる省エネを図る工夫が必要となってきます。

照明制御の中でも特に「在室検知制御」の普及が必要であり、そのためにはコストや快適性が課題となっております。

最新の人を検知するセンシング技術として期待されているものとして、「画像センサ」が挙げられます。これは直前の画像とのコントラストの差を検知することによって非常に微かな動きでも検知できるセンサです（図1）。

このセンサを利用するメリットは、高い省エネ性と快適性の両立です。従来の人感センサでは熱線の変化量を検知する仕組みのため、ある程度大きな動きがないと検知できずにおりましたが、微かな動きでも検知できる画像センサの登場で、最終検知からの保持時間を短くすることができ、快適性と省エネ性を両立することが可能になりました。



図-1 画像センサ

今後、照明制御のセンサは、空調設備などとの連動が期待されております。たとえば、ローカルポジショニングシステム（Local Positioning System、以下LPS）という屋内の個人の位置情報を把握する技術があります。これはBluetoothの信号を発信するビーコンと、その信号を読み取り、距離や位置を測定するスキャナで構成されます。建物の中に設置したスキャナとユーザーが持つビーコンによって、建物内の誰が何処にいるかを把握することが可能になるシステムです（図2）。

LPSではビーコンのIDから個人を特定することが可能であるため、ユーザーが好みの照度や色温度を登録しておくことで個人のワークスペースなどで自動的に設定された最適な照明環境に調整することもできます。このような、より個人に焦点を当てた快適性・知的生産性の向上の効果も期待されております（図3）。

また、LPSでは位置情報を活用した様々なサービスが提供できます。特に社会課題になっている働き方改革に活用できるものも多く、ユーザーへは建物内の人や物の所在・施設の利用状況といったサービスの提供や位置情報を利用した空調や入退室管理設備との連動による利便性の向上というメリット、組織へは組織のコミュニケーションの可視化や最適なファシリティーマネジメントといったメリットを享受できるため、照明制御としてだけではなく、ビル全体の価値向上を目的として設備導入を行うことができます。

このように様々な技術との組み合わせによって従来の照明制御だけに留まらないユーザーメリット・組織メリットなどを得られるサービスを提供し、快適性や省エネ性を更に高めるよう目指していきたいと考えております。

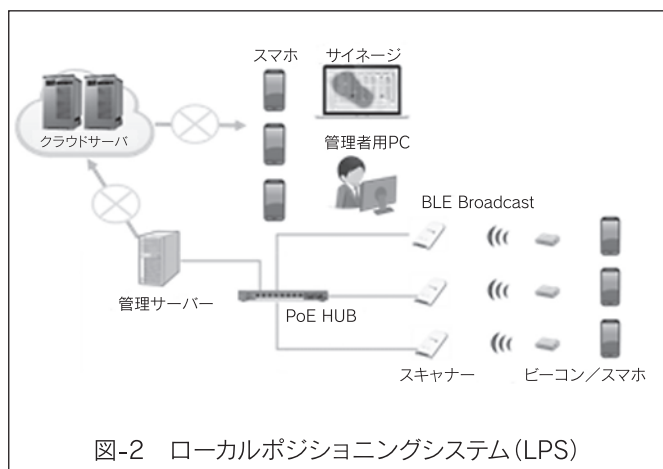


図-2 ローカルポジショニングシステム(LPS)

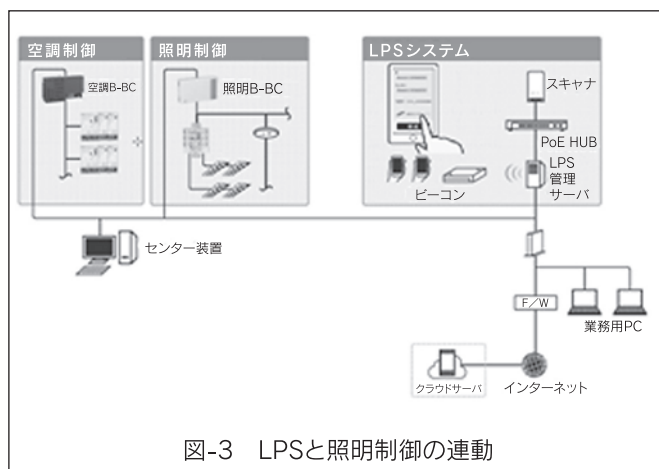


図-3 LPSと照明制御の連動

電気工事業界の 政治的取り組みについて

川口市議会議員 奥富精一

Voice



奥富氏

私が川口市議会議員になったのは今から3年前の事です。電業協会の市内外に拘らず大きな支援を頂きまして12票と言う僅差で最終議席を得ることができました。大変感謝しております。

さて、電気工事業界を始めとする建設業界は国民の安全安心である社会資本を支える重要な業界です。川口市においても、分離分割発注・防災協定などの市町村への協力と受注機会向上の相互関係構築・建設業法改定による請負金額の上限枠の増加や技術者の専任要件緩和など、市町村においても確実に実行されるように、行政側に求めてまいりました。おかげさまで、川口市でもこれらのものは厳守され、また実現してきています。

幸いにして、電気工事業界は既得権益保全のための業界ではなく、国民の安全安心と生活環境の向上に直結する業界です。地球温暖化対策として、照明のLED化や変圧器のトップランナー化から、次世代技術を支えるIoTやHEMS、ブロックチェーンの構築に対しても電気工事業界の提案は不可欠です。

また、人手不足による社会環境の変化に対応すべくAIやIoTなどの研究・導入をはかり生産

性の向上に取り組んでいくことも大きなテーマになってきております。業界全体の取り組みと行政の社会全体への支援策を利用し、大きく社会の発展へ寄与して頂くことを期待しております。私も専門知識を持つ議員として、具体策を提示し取り組んでまいります。

そして、そのためには地方議員を積極的に活用していただきたいと思っております。地方議員は選挙で選ばれた選良と言う立場ですので、直接、関係各所に働き掛けや議会での質疑も行えます。このことは、国民と行政と業界を結びつける強力な「かすがい」になります。首長を始めとする行政機関や議会などへ、要望・陳情・提案などは今まで以上に継続的・積極的に地方議員を介して行っていくことこそが国民生活の向上に結びつく行動であると強く確信しております。



協会の存在価値向上へ 2018年賀詞交歓会を開催

1月18日、さいたま市中央区のホテルブリランテ武蔵野で、2018年賀詞交歓会を開催し、会員同士の協調を強め、協会の存在価値をさらに高めるための決意を新たに、一年の飛躍を誓い合いました。

岡村会長は、世界経済や国内情勢について触れた後、「少子高齢化の時代ですから人材の確保、働き方改革が問題になっていますが、粛々と皆さまの生産性の向上を図っていきたいと思っています。働き方改革の中で、今だから言える、できることとして、相場を反映して算出されている設計金額と落札金額の問題や、提出書類の大胆な簡素化などが求められるのではないかと考えています。当協会としても、価値観を押し付けるつもりはありませんが、いろいろな形で情報を発信できればと思っています」と、協調を柱に組織強化を

図っていく方針を述べました。

その後は祝宴に入り、和やかに親睦を深め、一年の門出を祝いました。



会員、賛助会員で一年の門出を祝った

協会のうごき

3月

9日 第1回技能講習講師連絡会議
12日 災害復旧対策緊急連絡体制
シミュレーション
15日 第4回加入促進特別委員会
16日 第7回人材育成委員会
20日 第3回選挙管理委員会、第11回理事会
28日 共同購買事業報告会

4月

6日 新年度官庁挨拶回り
11日 第1回事故防止対策委員会

13日 第1回企業対策委員会
17日 第1回加入促進特別委員会
第1回理事会
26日 第1回人材育成委員会
27日 決算監査

5月

8日 第2回理事会
22・23日 職長・安全衛生責任者教育
25日 第3回理事会、平成30年度定時総会
第4回理事会、総会懇親会

建設産業担い手確保・育成事業／埼玉県認定職業訓練

平成30年度新入社員研修化(ｼﾞﾍﾞｯﾅｰ・雇入れ時安全衛生教育)	4月3・4・5日
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科ｺｰｽ・熊谷×6回)	4月7・14・21日、5月12・19・26日
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科ｺｰｽ・さいたま×6回)	4月11・18・25日、5月9・16・30日
第二種電気工事士試験受験準備講習会(筆記ｺｰｽ×4回)	4月23日、5月7・14・21日

(一社) 埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

さいたま支部(12社)

○旭電気工業(株)(大宮区)
浦和電気工事(株)(南区)
大塚電設(株)(浦和区)
(株)岡村電機(緑区)
◎埼玉電設(株)(中央区)

〔さいたま市〕



新生電気工事(株)(見沼区)
竹内電気(株)(岩槻区)
(株)積田電業社(浦和区)
中村電設工業(株)(岩槻区)
(株)万代電気工業(桜区)
瑞穂電設(株)(北区)
(株)八洲電業社(北区)

東部支部(12社)

(株)内田電気商会(久喜市)
(株)大久保電気(越谷市)

(株)三進電気工事(上尾市)
島村電業(株)(上尾市)
(株)新電気(三郷市)
◎(株)大広電気(八潮市)
太洋電設工業(株)(越谷市)
(株)高岡電気工業(松伏町)
○ニチデン技術サービス(株)(北本市)
野口電気工事(株)(越谷市)
深井電気(株)(北本市)
(株)弓木電設社(白岡市)

西部支部(18社)

○飯島電器工事(株)(川越市)
◎(株)市之瀬電設(志木市)
(株)大庭電気商会(川越市)
(株)岡島電気商会(川越市)
(株)おぎでん(川越市)
熊田電気工事(株)(狭山市)
(株)三共電気商会(和光市)
(株)関根電気商会(川越市)
相馬電業(株)(和光市)
(株)電成社(川越市)
(株)中村電気(新座市)
○橋電(株)(所沢市)
(株)橋本電工(所沢市)
フジヤ電気工事(株)(川越市)
(株)北産電設(所沢市)
(株)まつもと電機(和光市)
(株)明電社(川越市)
(株)ヤマト・イズミテクノス
(ふじみ野市)

南部支部(9社)

◎内山電設(株)(川口市)
(株)奥富電気工事(川口市)

(株)佐久間電設(川口市)
佐野電機(株)(川口市)
三位電気(株)(川口市)
高山電設工業(株)(川口市)
(株)田部井電気(川口市)
釣谷電機(株)(川口市)
○那須電機工業(株)(川口市)

北部支部(15社)

イーテクノス(株)(熊谷市)
(株)イトラスト埼玉(行田市)
(株)エコー(深谷市)
共和電機(株)(秩父市)
◎熊谷電機(株)(熊谷市)
(株)栗原電機(深谷市)
霜田電気(株)(皆野町)
中外電気工業(株)(深谷市)
(株)東電工業社(熊谷市)
(株)長井電機(熊谷市)
(株)沼尻電気工事(深谷市)
(株)早川電工(鴻巣市)
松山電設(株)(東松山市)
ムサン電機工業(株)(行田市)
○(株)躍進電気(深谷市)

働き方改革を考える イノベーションセミナーを開催

1月18日、さいたま市中央区のホテルブリランテ武蔵野で、県産業労働部シニア活躍推進課の野尻一敏課長を迎え、講師に県中小企業診断協会シニア活躍事務局チーフアドバイザーの梁川成豪氏を招き、働き方改革をテーマとする講演と、賛助会員による新技術・商品の紹介を内容とするイノベーションセミナーを開催しました。

1部の冒頭、野尻課長は「企業がこれからは経営を継続するためにもシニア、あるいは女性の力を借りなければいけない」と、講演の趣旨を説明しました。

中小企業診断士である梁川氏は『働き方改革におけるシニア人材の活用』と題し、企業を取り巻く環境とシニア活躍の可能性、体制の整備、技術・技能資産の継承、取り組み事例などを紹介。「人生100年の時代を迎え、働く意欲のある健康なシニアを活用しないと国の損失につながる」と伝え、プロパーシニアの活用、サテライトオフィス(会社以外の拠点での勤務)導入、コミュニケーションの面から世代間ギャップの

解消についての対策や、健康管理への配慮の必要性など、雇用にあたっての留意点をアドバイスしました。

引き続き2部では、賛助会員の(株)関東日立および(株)日立産機システム、パナソニック(株)エコソリューションズ社、因幡電機産業(株)が新商品や業界の今後の展望などを紹介しました。



シニア人材活用の重要性を解説



県の野尻課長



講師の梁川氏